

たいにいい・ぼっくすつうしん

Vol.99

令和5年
6月15日

目指すは誰のどんな将来？

福祉従事を始めた方など、支援の在り方について説明をする場面が多くあり、私は、「(利用者の)背に手を当てる」という表現をよく使います。支援者が利用者の背に手を当てる動作は誰でもできますが、僅かに力を入れると、次の段階が生じます。背に手を当てられた利用者は、その手を頼りに体重をかけるのか、それとも、安心感を得て前に踏み出すのかに分かれるのです。

体重をかけてきた場合、もしかしたら、「寄りかかってきていいよ。わたしが支えるから」という気持ちが伝わったのかもしれませんが。あるいは、支援者がそのような気持ちで手を当てているかもしれません。そして、倒れないようにしなければと支える力を強くすればするほど、利用者は、「もっと寄りかかっていいのかな」とさらに体重をかけてきたりするのです。後ろ向きの受け身の取れない状態で倒れてしまいそうになるから、からだを支える。踏ん張る。守る。時に、一人の支援者では支えきれない状態となり、また、元の状態に戻すには支える以上の力を必要とします。このような結果は、誰も望んでいません。支援者は、身体を支えるでもなく、押すでもなく、自然と一歩前に踏み出すことができる加減で、背中に手を当ててあげることが大切です。

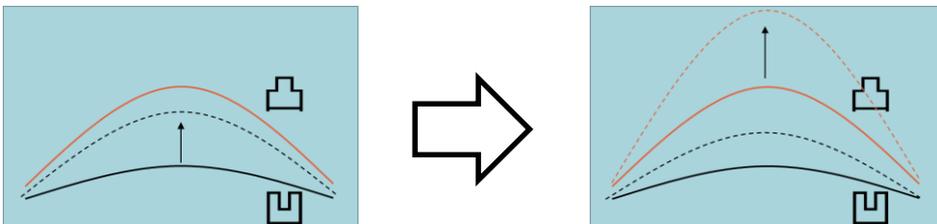
背に手を当てて僅かに力を加えた状態は、倒れようとしているのを支えているのか、前に踏み出せるように支えているのか、画としては全く同じで、傍から見るとどちらの場面かわかりません。目標に向かった将来に繋がりたいと掌に願いを込め、その気持ちが伝わる関係づくりをしていかなければならないと、日々の支援で感じるのです。

たいにいい
のようす

写真掲載欄のため、内容を削除しております。

「できることを伸ばす」～ライフスキルトレーニングより～

どの子にも凸凹がありますが、凹を伸ばして凹を上げようとする努力より、凸を伸ばして凹が少しずつでもついてくるようにするという考え方をおすすめします。福祉用語で、凸を「ストレングス(強み)」という言い方をします。



7月の予定

七夕製作
旭町自治会祭り模擬店
夏季長期休暇計画参照

7月 休業日

1日2日
8日9日
15日16日17日
22日23日
29日30日

